

【実践⑥ 論理・表現Ⅰ 領域：書くこと】

1 日時・実施場所

令和4年〇月〇日 (〇) 第 限 (〇〇 : 〇〇 ~ 〇〇 : 〇〇) 〇〇教室

2 学 級

〇〇科 第〇学年〇組 (〇〇名)

3 学 級 観

英語に苦手意識を抱えている生徒がいるものの、言語活動については前向きに取り組もうとする姿がある。間違いを恐れずに英語を使おうとする態度を養い、他の生徒と情報共有することの楽しさを感じさせながら、成長している実感を与え、英語学習に対して前向きに取り組むことができる環境を作りたい。

4 教 材

(1) 教科書 〇〇〇〇 (〇〇出版)

単元名 Lesson 〇 〇〇〇〇

(2) 補助教材 〇〇〇〇 Workbook

5 単元の目標

興味のある国について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見や主張を理由や具体例などを工夫して、順序立てて詳しく書いて説明している。

6 関係する領域別目標 (学年のCAN-DO)

聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 自分や友人のことについて、発表や対話などを聞いて、ゆっくり話されていれば、その概要を理解することができる。 授業における英語の指示が理解できる。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 友人が書いた文を読むことができる。
話すこと [やり取り]	<ul style="list-style-type: none"> 聞いたり読んだりしたことについて、あいづちをしながら簡単な意見交換をすることができる。 与えられた話題について自分の意見に理由を入れながら、即興で2分程度話し合うことができる。
話すこと [発表]	<ul style="list-style-type: none"> 自分のことについて、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、1分程度発表することができる。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを、簡単な英語を用いながら、即興で50語程度の文章を書くことができる。 友人と話し合いをしたことに基づき、情報や考えなどをまとめ、100語程度の文章を書くことができる。

7 単元の評価規準 (五つの領域ごとの評価規準の設定)

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	<p>[知識] 自分の意見や主張を、伝えるために必要となる論理の構成や展開及び表現等を理解している。</p> <p>[技能] 興味のある国について、自分の意見や主張を、理由や具体例などを用いながら、順序立てて説明する技能を身に付けている。</p>	<p>読み手によく理解してもらえるように、興味のある国について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見や主張を、理由や具体例などを工夫しながら、順序立てて詳しく書いて伝えている。</p>	<p>読み手によく理解してもらえるように、興味のある国について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見や主張を、理由や具体例などを工夫しながら、順序立てて詳しく書いて伝えようとしている。</p>

8 パフォーマンステスト

○領域

書くこと

○内容

My favorite country

○採点の基準（ワークシートのルーブリック参照）

9 単元の指導計画

（聞...聞くこと，読...読むこと，や...話すこと [やり取り]，発...話すこと [発表]，書...書くこと）

時間	ねらい (■)，言語活動等 (丸数字)	内容のまとめ					生徒の活動状況を見届ける観点 (【 】)・方法 (○)
		聞	読	や	発	書	
1	<p>■単元の目標を理解し，課題に対する理解を深める。</p> <p>① 世界の国々を説明する文を読み，どこの国か答える。</p> <p>② 必要に応じて，文法事項を確認する。</p> <p>③ カナダについて書かれたモデル文を読み，Mind Map をする。</p> <p>④ カナダについて図式化したメモを参考にペアに伝える。</p>			○	○	○	<p>【知】使われている語句・表現を理解しているか。</p> <p>【思】モデル文に合わせて図式化できているか。</p> <p>【態】ペアに積極的に話そうとしているか。</p> <p>○ワークシート</p> <p>○活動の観察</p> <p>【参考：ワークシート pp. 1-2】</p>
2	<p>■自分の意見や主張のアウトラインを書き出す。</p> <p>① 自分の興味のある国を選び，与えられた質問に答えながら，英文を書き出していく。</p> <p>② 自分の興味のある国について Mind Map を描く。</p> <p>③ モデル文を参考に理由や具体例の書き方を確認する。</p> <p>④ ライティングのルーブリックを提示する。</p> <p>⑤ ①～③を参考に，First Writing に取り組む。</p>					○	<p>【知】適切な語句・表現を使用しているか。</p> <p>【態】モデル文を参考に文章の構成を工夫して書こうとしているか。</p> <p>○ワークシート</p> <p>○活動の観察</p> <p>【参考：ワークシート pp. 2-3】</p>
3	<p>■ペアで読み合い，アドバイスなどを利用しながら Second Writing を書き出す。</p> <p>① スピーチ発表のルーブリックを提示する。</p> <p>② 自分の書いてきた First Writing を参考に興味のある国についてペアで発表の練習をする。</p> <p>③ ②のペアで First Writing を交換し読み，気になる文に線を引いたり，コメントやアドバイスを書いたりする。</p> <p>④ ①，②を3回繰り返し行う。</p> <p>⑤ 過去の作品によく見られた文法間違い (Common Errors) を確認する。</p> <p>⑥ ①～⑤で得た情報をもとに Second Writing を書きだす。</p>			○	○	○	<p>【知】適切な語句・表現を使用しているか。</p> <p>【態】モデル文を参考に文章の構成を工夫して書こうとしているか。</p> <p>○ワークシート</p> <p>○活動の観察</p> <p>【参考：ワークシート pp. 2-8】</p>

4	<p>■ペアで読み合い，発表への準備を行う。</p> <p>① 興味のある国についてペアで発表し合う。</p> <p>② ①のペアで Second Writing を交換し読み，コメントなどを書く。</p> <p>③ ①，②を3回繰り返し行う。</p> <p>④ 発表用のスライド作成の説明を行う。</p>				○ ○ ○	<p>【態】 ペアに積極的に話そうとしているか。</p> <p>○ワークシート</p> <p>○活動の観察</p> <p>【参考：ワークシート p. 6】</p>
5	<p>■スピーチ発表と Second Writing 提出</p> <p>①ランダムで呼ばれた番号の生徒からスライドを使用しながら発表を行う。</p>				○	<p>【知】 適切な語句・表現を使用しているか。</p> <p>【態】 モデル文を参考に文章の構成を工夫して書こうとしているか。</p> <p>○ワークシート</p> <p>○活動の観察</p> <p>【参考：ワークシート p. 9～11】</p>
後日	Second Writing・振り返りシートの提出及びペーパーテスト				○ ○	

10 本時の目標

自分の興味のある国について，ペアで話し合い，ペアからのアドバイスや文法事項に気を付けながら **Second Writing** を書き出す。

11 本時の展開（3／5時間）

時間	指導過程	生徒の学習活動	指導上の留意点・支援等
20分	Peer editing	<p>① ペアで与えられた話題について簡単な英語で1分間発表する。</p> <p>② ペアで文章を交換し，読む。（2分程度）</p> <p>③ ペアの文章の気になるところに下線を引いたり，印を付けたりする。（1分程度）</p> <p>④ ペアの文章のよかったところや，アドバイスを書く。（1分程度）</p> <p>①～④を2回，他のペアで行う。</p>	生徒が活動に参加できるように適宜，巡回し，助言する。特に，話すことをやめないように気を付けたい。
15分	Common Errors	与えられたプリントの問題を周りと協力しながら，解答する。	生徒が考えることをやめないように助言する。 問7についてはPointとともに図式化したものから，具体例を書くことについて説明する。
13分	2nd Writing	授業で学んだことを意識して， Second Writing をはじめる。	
2分	本時のまとめ	次回の連絡を聞く。	次回の連絡を言う。

12 御高評



Class() No.() Name()

Let's talk about your favorite country!!

Before writing

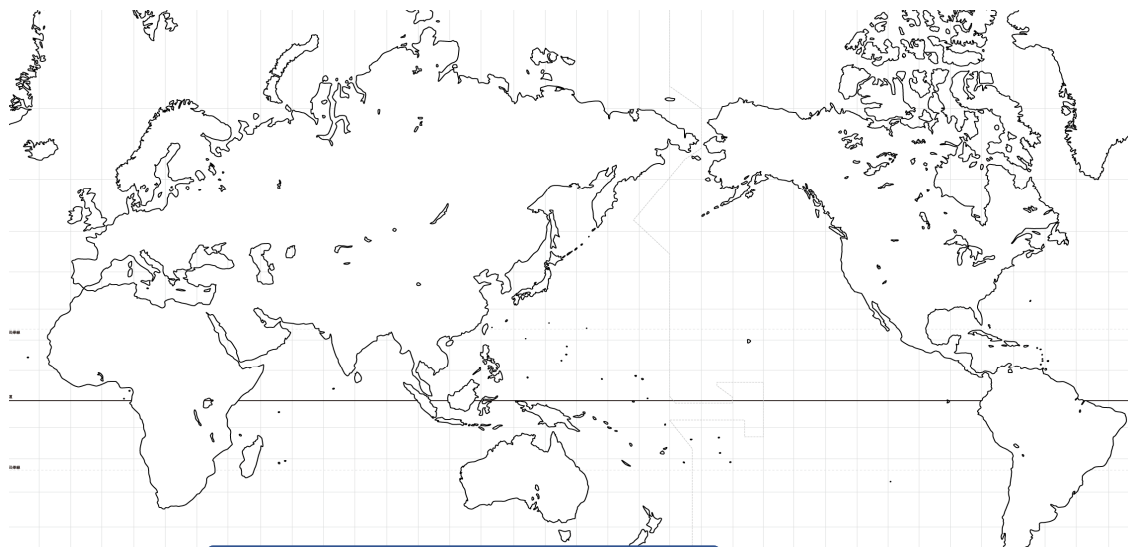
本単元では「自分のお気に入りの国を紹介する」という日常的な話題を扱います。



Quiz: "Where is this?"

- 1. This country **is known for** its koalas and kangaroos. []
- 2. This country **is shaped** like a boot. []
- 3. The Nobel Peace Prize **is given** in this county.
- 4. John Lennon **was born** in this country.
- 5. The 2020 Olympic Games **was held** in this city. []
- 6. The city **is called** "The Big Apple." []
- 7. The Golden Temple can **be seen** in this city. []

お気に入りの国を紹介するのに受動態が使われることを想定して、受動態を使って国を紹介する例文をいくつか示しました。単に例文を羅列するのではなく、ペアでクイズに取り組めるように工夫してあります。



国を紹介するモデル文を示し、今回の目標を示します。



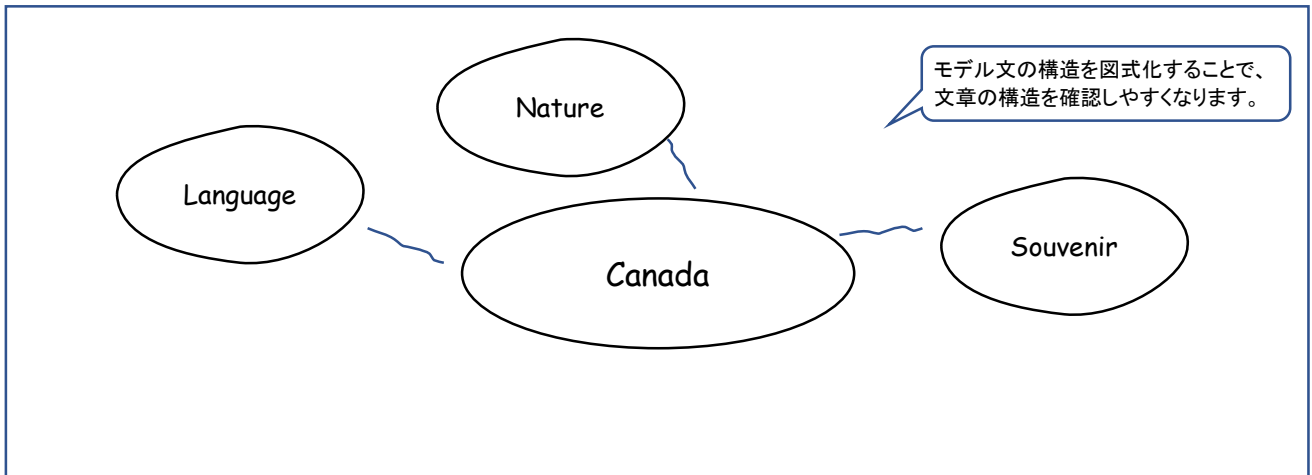
Reading: Read the essay (モデル文)

SAMPLE

I would like to talk about my favorite country, Canada. Ottawa is the capital of this country. In this country, English and French are spoken. However, most of the people speak in English. Canada is known for its beautiful nature. For example, Niagara Falls in Ontario or Canadian Rockies in Alberta. Also, the aurora can be seen in Yellow Knife. As a souvenir, we can buy maple syrup. It is made from maple tree sap. If you are interested in Canada, why don't you visit there?



Think!: モデル文を基に Mind Map を作成しよう！



Communication Practice: Mind Map を基に Canada について話そう！



Q&A: Writing に向けて自分の考えを書こう！

1. What country would you like to talk about?

2. What city is the capital of this country?

3. What language is spoken there?

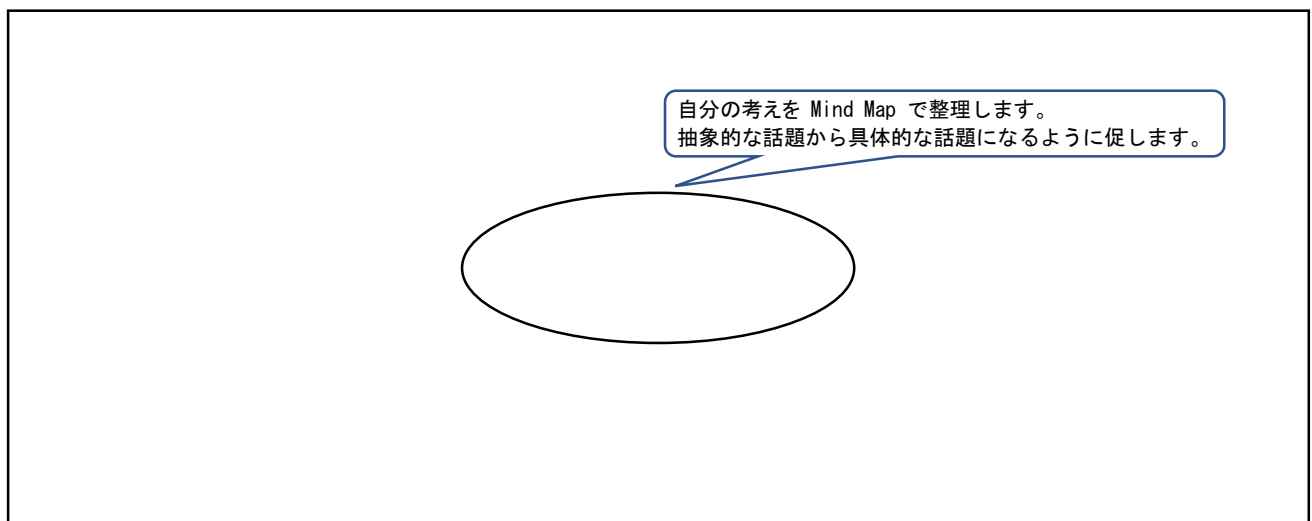
4. What is this country known for?

5. What can be seen there?

文章の構成を意識して質問を配置してあります。
この質問に答えることで、生徒は自分が選んだ国について考えることができるとともに、文章の構成も学ぶことができます。
また、ペアで意見交換を行うことで考えを深めることができます。



Think!: モデル文や Q&A を基に自分が選んだ国について Mind Map を作成しよう！



1st Writing

My favorite country

Class () Name ()

										10
										20
										30
										40
										50
										60
										70
										80
										90
										100
										110
										120

上記のワークシートで発想から推敲まで段階的な手順を踏みながら、意見や主張などを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝えます。

【 】words

アンダーラインとコメントには同じ色を使おう！！

上記のワークシートで発想から推敲まで段階的な手順を踏みながら、意見や主張などを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝えます。

1st editor: _____ (comment)	2nd editor: _____ (comment)	3rd editor: _____ (comment)
(Advice)	(Advice)	(Advice)

書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝えたりします。この活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」の観点の一つである「自らの学習を調整しようとする側面」に関わる力を育成します。

peer editing

友達の英作文に、「もっとこうしたらいいよ」や、「もっとこんなことを書こう」という advice、そして、「もっとこんなことが知りたい」という questions を書こう！

___ ☆	面白い、またはよい内容、自分も使ってみたい表現
___ ?	内容の分からない部分、語句
___ more	もっと詳しく知りたいところ <u>質問をすぐそばに書こう。</u>
___ me, too	共感できる部分
___ !	そうなのか、なるほどと思ったところ

受動態

-Common Errors- よくある文法ミス

Class () No () Name()

これだけは必ず確認しよう！（自分でも気付けるはず！）

- それぞれの文に S V がありますか？：(特に because などの接続詞の後ろは S V)
- 語順は SV~の順で書いているか(日本語の語順そのままの英語になっていないか)
- 代名詞の格変化：(He likes she×.などの例は時に見られる。she-her-her-hers)
- 進行形の ING：(I playing the guitar now. → be+ing)
- 主語と動詞の(人称・数の)一致：(Kumi and Takuya playss× soccer.)

よくある間違いのポイントを示すことで生徒が自分で間違いを修正できるようにしていきます。

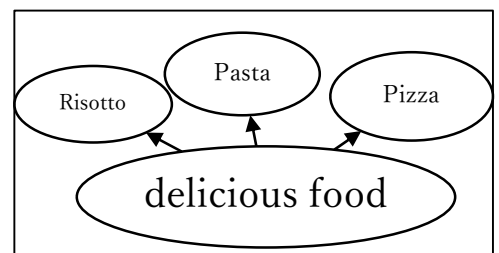
間違いを直そう

1. You can be seen many beautiful buildings there.
Many beautiful buildings can be seen there. / You can see many beautiful buildings there.
 2. English are spoken in this country.
English is spoken in this country.
 3. This country can be seen an idol's concert.
An idol's concert can be seen in this country.
 4. We can be eaten delicious food there.
Delicious food can be eaten there. / We can eat delicious food there.
 5. Pizza is known for delicious food in Italy.
Italy is known for delicious food such as pizza.
 6. Australia can be seen a beautiful sea.
A beautiful sea can be seen in Australia. / You can see a beautiful sea in Australia.
1. どちらから書くと抽象的な話題から具体的な話題になりますか。
 ① In Kyoto, you can visit Kinkaku-ji, Ginkaku-ji, and Kiyomizu-dera. ()
 ② Japan is famous for its beautiful buildings. () → ()

Point Mind Mapping の使い方

自分の書いたマインドマッピングを使いながら英作文をしましょう。質問に答えるだけでは、箇条書きのような文章が出来上がってしまう原因になります。右の図のように一つの情報についていくつか枝分かれすると以下のようなつながりのある文章が書けます。

You can enjoy eating delicious food in Italy.
For example, pasta, risotto and pizza are popular there.



Point 順序の表現「まず、次に、最後に」

First, many buildings can be seen there. ○○○……

Next, you should buy souvenirs. ○○○……

Finally Delicious food can be eaten there. ○○○……

三つの情報の最初に置きましょう。

まず	次に	最後に
First,	Second,	Third,
First of all,	Besides,	Finally,
To begin with,	Next,	Lastly,

									10
									20
									30
									40
									50
									60
									70
									80
									90
									100
									110
									120

【 】words

1st editor: _____ (comment) (Advice)	2nd editor: _____ (comment) (Advice)	3rd editor: _____ (comment) (Advice)
--	--	--



First Writing から改善した点を説明しよう！

【語数・内容・構成・文法や語彙】(例:「～とアドバイスをもらい、～しました」)

_____ ----- _____	改善点を意識させることで、「自らの学習を調整する側面」に関する力を育成します。
-------------------------	---

Length【主体】	Content【思考】	Total
/5	/5	/10



How your essay is evaluated



The essay is worth a total of 10 points.

Your Essay is evaluated in two aspects below.

<p>語数と改善点を分けて評価することも考えられます。</p> <p>Length (長さ)</p> <p>【主体的に取り組む態度】</p>	5点	100語以上書いている。また、First Writing からの改善点が生かされている。
	3点	100語以上かいている。また、First Writing からの改善点が書かれている。
	1点	80語以上99語以下である。または、First Writing からの改善点が書かれていない。
	0点	79語以下である。
<p>Content (内容)</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	5点	自分の興味のある国について、三つ以上の情報が具体例とともに順序だてて説明されており、ほとんど間違いがなく、First Writing からの改善が見られる。
	3点	自分の興味のある国について、三つ以上の情報が具体例とともに順序だてて説明されており、ほとんど間違いがない。
	1点	自分の興味のある国について、一つ以上の情報が書いてある。
	0点	自分の興味のある国についての情報が書かれていない。

文法事項や語彙は【知識・技能】の観点で評価します。今回は評価の対象にしていません。

注意点

- ① 挨拶や自分の名前など Topic に関係のない文は語数にカウントしない。
- ② 提出に遅れた場合【主体に学習に取り組む態度】の点数より減点する。
- ③ 自分の言葉で会話や発表するために、また聞き手に理解してもらえるように、難しい表現は使わない。



How your speech is evaluated



The essay is worth a total of 10 points.

Your Essay is evaluated in two aspects below.

主体的に学習に取り組む態度	Eye Contact	聞き手を意識しているか	5点	1、2回メモを確認するが、聞き手を見ながら話している。
			3点	聞き手を見ながらも、何回かメモで確認しながら話している。
			1点	メモを見ることが多く、2、3回聞き手を見るだけである。
	Fluency	適切なスピードと声量	5点	聞き手が聞き取りやすい声量とスピードで発表している。
			3点	聞き手が聞き取りやすい声量で2、3回止まりながら発表している。
			1点	聞き手が聞き取れないところが何回かあるか、何回も止まりながら発表している。
思考・判断・表現	Strategies	ポスターなどの視覚的効果	5点	ポスターとディスコースマーカを適宜使いながら、発表している。
			3点	ポスターを表示して話している。
			1点	ポスターと話が合わないことが何回かある。
	Content	聞き手が理解しやすい構成	5点	三つ以上の情報が具体例とともに順序だてて説明されている。
			3点	三つ以上の情報が説明されている。
			1点	自分の興味のある国について、一つ以上の情報が説明されている。
()年 ()組 ()番 名前()				主体 /10
				思考 /10
				合計 /20

自分の言葉で会話や発表するために、また聞き手に理解してもらえるように難しい表現を使わない。



One Page Portfolio Assessment for English Communication

class : _____ Number : _____ Name : _____

次の質問について答えてください。

1. 聞く力について

- 4 先生や友達の英語が8割以上理解できる
- 3 先生や友達の英語が6割以上理解できる
- 2 先生や友達の英語が4割くらいなら理解できる
- 1 先生や友達の英語が理解できない

4					
3					
2					
1					
	月	月	月	月	月

2. 読む力について

- 4 教科書本文や友達が書いた英文が8割以上理解できる
- 3 教科書本文や友達が書いた英文が6割以上理解できる
- 2 教科書本文や友達が書いた英文が4割以上理解できる
- 1 教科書本文や友達が書いた英文が2割以上理解できる

4					
3					
2					
1					
	月	月	月	月	月

3. 話す力について

- 4 決められた時間ほぼ止まらずに話すことができる
- 3 決められた時間時々止まるが話すことができる
- 2 決められた時間よく止まってしまう
- 1 うまくできなかった

4					
3					
2					
1					
	月	月	月	月	月

4. 書く力について

- 4 80語以上書くことができる
- 3 60語以上書くことができる
- 2 40語以上書くことができる
- 1 20語程度しか書くことができない

4					
3					
2					
1					
	月	月	月	月	月

5. 単語テストについて

- 4 単語テストでは概ね8割以上取れている
- 3 単語テストでは概ね6割以上取れている
- 2 単語テストでは概ね4割以上取れている
- 1 単語テストでは概ね2割程度またはそれ以下である

4					
3					
2					
1					
	月	月	月	月	月

6. 定期テストについて

- 4 8割以上取れている
- 3 6割以上取れている
- 2 4割以上取れている
- 1 2割以上取れている

4					
3					
2					
1					
	月	月	月	月	月

振り返りシート評価規準

- A (10) : これまでの学習を振り返り、現状把握、新たな課題発見、それを解決しようと今後の学びにつながる振り返りが十分にできている。
- B (6) : これまでの学習の振り返り、現状把握、新たな課題発見、今後の学びに向けて振り返りがおおむねできている。
- C (3) : 回答が不十分な項目や回答できていない項目がある。

Speaking について

1学期

どのような取組をしましたか。
授業内

授業外

どのようなことができるようになりましたか。



今後どのような取組をしますか。
授業内

授業外

もっとこうすればよかったと思うことは何ですか。



感想		評価
----	--	----



2学期

どのような取組をしましたか。
授業内

授業外

どのようなことができるようになりましたか。



今後どのような取組をしますか。
授業内

授業外

もっとこうすればよかったと思うことは何ですか。



感想		評価
----	--	----



3学期

どのような取組をしましたか。
授業内

授業外

どのようなことができるようになりましたか。



今後どのような取組をしますか。
授業内

授業外

もっとこうすればよかったと思うことは何ですか。



感想		評価
----	--	----

Writing について

1学期

どのような取組をしましたか。
授業内
授業外

どのようなことができるようになりましたか。



今後どのような取組をしますか。
授業内
授業外

もっとこうすればよかったと思うことは何ですか。



感想		評価
----	--	----



2学期

どのような取組をしましたか。
授業内
授業外

どのようなことができるようになりましたか。



今後どのような取組をしますか。
授業内
授業外

もっとこうすればよかったと思うことは何ですか。



感想		評価
----	--	----



3学期

どのような取組をしましたか。
授業内
授業外

どのようなことができるようになりましたか。



今後どのような取組をしますか。
授業内
授業外

もっとこうすればよかったと思うことは何ですか。



感想		評価
----	--	----